

# 人と文化を知る

## 1 留学生とトークの会



ウズベキスタン・中央アジアなどからの留学生たちとの気楽なサロンです。留学生たちにウズベキスタンや中央アジアの文化、習慣あるいは日本で感じたことなどを語ってもらい自由に活発な話し合いをします。ときにはテニス、ボーリング、蕎麦打ちなど共に汗を流し舌鼓を打って、一緒に楽しみ交流を深めます。日本人と共通の気質を持つ留学生たちの若々しく真剣に夢を追う姿に感動することでしょう。最近ではアジア各国の留学生たちも参加して広がりを見せています。

## 2 在日ウズベキスタン人との交流



いろいろな施設の見学や、お花見など日本の季節の行事に共に参加することを通じて、肌で日本を知っていただく活動をしています(文化交流委員会)。女性・子供に対しては、日本語・文化・料理・手芸等の教室を開いたり、日本における日常生活に関わるアドバイスをすること等を通じて、相互理解を深めることに務めています(オイーラの会)。また、ウズベキスタンの手工芸品や物産を紹介するために、年数回バザーを開催しています(ローラの会)。

## 3 ウズベク語講座



留学生を講師に迎え、初級クラスでは旅行などで買い物ができる程度の日常会話から始め、中級クラスでは会話を含め歴史、文学等の文章を読みながらウズベキスタンの文化・習慣等の勉強をしています。

# 人と文化に親しむ

## ウズベキスタンへ行こう!



旅行企画委員会が年1回企画する、会員限定のウズベク旅行です。現地の人達との交流などを含め通常のバックツアーでは体験出来ない協会独自の旅行プランを企画します。ウズベク初心者の方や旅慣れない方も、事前の講習会でみっちりサポートします。

**UZBEKISTAN**

飛行機で約9時間  
約6000km

人 口—2,670万人  
面 積—44万7000km<sup>2</sup> (日本の約1.2倍)  
首 都—タシケント (230万人)  
通貨単位—スム  
主要言語—ウズベク語、ロシア語  
民 族—ウズベク人(77.2%) ロシア人(5.2%)  
タジク人(4.8%) カザフ人(4%)  
カラカルバク人(2.1%)  
タタール人(1.4%) キルギス人(0.9%)  
トルクメン人(0.6%) その他(3.8%)  
宗 教—イスラム教スンニ派が主流  
G D P—170億ドル  
(2006年推計)

1991年8月に旧ソ連より独立した中央アジアのほぼ中央に位置する多民族国家で首都タシケントは人口230万人を擁し地下鉄もあります。航空機を製造する一方天然資源が豊富で、金の生産は世界5位、綿花も世界4位でアメリカに次ぐ第二の輸出国、石油・天然ガス・食料の自給体制が整っているうえ、鉄鉱石・石炭などの埋蔵も確認されています。ウズベキスタンは、かつての中国とローマを結ぶシルクロードの中心地に位置していて、ヨーロッパに近代国家ができるまでの間、ユーラシア大陸の交易の中心地で、その地政学的重要性は今日にも及んでいます。

# 人と文化を広める

## 1 シンポジウム

文化交流展とは別に年に1回、国際政治シンポジウムを行っています。中央アジア・イスラム問題や米・中・日の関係、グローバルイゼーションなどその年にもっとも関心の高いテーマを選び、著名な学者、文化人、ジャーナリストを迎えています。

## 2 文化交流展



協会イベントの大きな柱がシルクロード文化交流展です。定期的で開催し、1週間の文化展示会で、開催中にシンポジウム、講演会、バザー、料理教室、中央アジアを中心とした外国人との懇親会などを行います。東京以外では横浜、下関、瀬戸内海の生口島などで行ってきました。毎回多くの入場者が来場されますし、愛知万博の中央アジア館への協力といったイベントもあります。

## 3 広報誌「Assalomu alaykum!」・ホームページ・メール配信

広報誌編集委員会が編集し年4回、広報誌を発行。協会ニュースや会員エッセイ、中央アジアからの便り、在日ウズベキスタン人らの投稿など多種多様な記事が満載です。HPは随時更新し、協会活動の全てが把握できるように工夫し、ご意見も掲載しています。ご自分のEメールアドレスを事務局へ登録しますと、最新の活動情報が事務局より直接配信されます。

## 4 出前講座

当協会の顧問でジャーナリストの高信彦が政治・経済・国際問題などをわかりやすく解説し、意見交換をする会です。定員約50人で年5回、毎回3時間の熱気あふれる講座です。

## 5 学校訪問・講演会



小・中学校の「国際交流」「道徳」授業の一環として、依頼があると留学生と共にシルクロード文化などを紹介します。市民講座などへ「シルクロードの日本人伝説」といったテーマで高顧問が地方へ講演に伺うこともあります。